

第37回日本緑内障学会 ランチョンセミナー4

OCTから視野を推測する時代へ！ ～研究の最前線と、臨床現場のホンネ

日時 2026年10月2日(金) 12:00～13:00

会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
第5会場(10F 1001-2)

座長

高橋 秀徳 先生
(筑波大学)



OCTから出力される網膜構造をもとに視野を推測する研究は、長年にわたり多くの先人によって続けられてきましたが、ここ数年のAI(ディープラーニング)技術の急激な進展により、いよいよ実際の臨床現場で使われる時代が到来したといえます。

本セミナーでは、このOCTとAIによる視野推測技術の研究開発の最前線に立つ先生と、実際に毎日の臨床現場で活用している先生方にご登壇いただき、本技術の有効性や現時点での課題等を率直にご発表いただくことを目的に企画しました。

今後の視野検査のあり方を考えるという点で、本セミナーが、多くの先生方に新たな知見や示唆を得ていただける有意義な機会となれば幸いに存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

演者1

AI推測視野のしくみと
現在地

古山 誠 先生
(南子安眼科)



演者2

AI-COによる緑内障
視野障害評価の現状と課題
—実臨床819眼における
有用性と予測誤差因子の検討—

高良 由紀子 先生
(高良眼科医院)



演者3

AI-COを用いた緑内障診療の
導入経験
—臨床現場で見えた有用性と課題—

金本 尚志 先生
(三原駅かなもと眼科)

